



5月の青空の下、庭に

バラの花が咲いています



大阪で事務所開設！

4月も中旬に私達は大阪天満に小さな事務所を借りました。そこで営業活動をしていく計画で人員は私を除いて7人の営業マン、一人の業務員、あと事務員が必要と新聞広告を出すことにしました。小さな広告でしたが、事務員募集で8人程の応募があり、私と業務担当の川久保とで面接しました。その中で一人を採用しました。色白で少し線が細かいかなあと思いましたが、上品な娘で年齢は21歳で姉と一緒ににアパートに住んでいて、故郷は愛知県でした。

知る由もありませんでした。

彼女の教育は川久保に任せて私は営業マンと今後の販売拠点選びに会議を催していました。学研の野村さんも加わり、これから何処に売りに行くかを決めねばなりません。

営業マンを2つのグループに分けそれぞれ責任者を決めて、彼らはマイティーチャーで十分の経験がありますので、行き先は任せてそれぞれのノルマだけを私が決めて会議をしていました。男9名女子1名の体制で出発です。2班に分け1班は大阪の北、豊中、池田、箕面方面、もう1班は南、泉南、泉大津、八尾、和歌山です。3ヶ月が過ぎました。売り上げはまずまずの成績ですが、営業マンからは

いで下さい。」

私は売り先が詰まってきたなあと思いました。私もその頃は現場に出て主に寝屋川をセールスして回っていました。その経験からして、マイティーチャーが沢山入っているなど感じていました。

した。学研の野村さんにもそのことは報告していましたが彼も一大阪の担当者です。新商品をおいそれと出せるわけもありませんので、もう少し頑張ってくださいと言うばかりです。

「社長どこに行ってもマイティーチャーが入っていて売り先が細いですね」と言ってきました。「リコー時代沢山売ったからね」と私、この仕事は長く続かないかも、新商品を学研さんが開発してくれないと1、2年で終わるかも持っていました。社員にはまだまだ売るところはあるからじっくり取り組んで行こうと元気つけていました。

6ヶ月が過ぎ、井上課長が和歌山にじっくり入って販売活動をしたと言ってきました。和歌山と言っても端から端まで長い地区ですので大阪からは串本とか新宮とかは通えません。当然商人宿に泊まりながらの活動になります。経費も掛かります。井上は「宿賃は半分出して貰えますか。残りの半分は自分が歩合から出します。絶対売れますから心配しな

その頃事務所では川久保が「社長、稲垣さんは真面目でいいのですが、間違いを時々起こしてそれと同じところで間違うのですよ。あがり症で少しスピードを上げるとパニックになるみたいで」「困ったね、首にするか?」「いえ、もう少し様子を見ましよう」営業も大変、事務も大変、そんな1年が過ぎて決算をした時、経理の先生から、「黒字で終わりましたら、売上が当初より落ちてきているので心配です。」それはわかっています。それが、市場が狭まっているので売り先が無くなりつつあることはわかっています。

そんなこんなで2年が過ぎた頃私はこの商品で商売をして行くのは限界だなどと思い、野村さんに辞めようと思うと話し、みんなに集まってもらって、私の決断を話しました。「会社はこれで終わりにしますが、まだ売りたい人がいれば学研に話して、商品を直接おろしてもらえようように話をするが、続けて販売をして行きたい者がいるか」井上課長が「私はまだ売れると思うので話を通して貰えますか」「後のものは?」と私、「私もまだ売ります」と松宮、結局3人が販売を続けることに。後の5人は別の会社にサラリーマンとして移るこ

となりました。

その後片付けをしていると野村さんが来られて、「籠谷さん申し訳ないことになりましたが、今後どのようにされる予定ですか？」「何も予定はありませんが、片付いたら少しゆっくりして次の人生を考えたいと思っています。」「では、提案があるので、学研で中学生向けの学習月刊誌をこのたび発行することになったのですが、主婦の方へ売って頂いて配本もしていただくいわゆる小学版の「学習」「科学」をご存知ですか。その中学版ですが、その代理店を募集しています。大阪は決まっています。ですが、稲垣さんの故郷愛知県は未だあきがあります。それを籠谷さんに紹介したいのですが」

私は一瞬どんな仕事かわかりませんでした。「学習」「科学」は有名でしたので知っていました。が、その中学版が出るのは初めて知りました。「なんと言う本ですか」「マイコーチです」

「中学一年生から3年生まで、国語、英語、数学、社会、理

科、で一冊850円です。コー

チャーさんと言う名の主婦の方に売っていて大手配本も毎月して頂くその代理店です。全く新規ですのでやり方次第で面白いし収入になると思いますが、「どの地区が空いているのですか？」「名古屋市内の1地区と豊川地区です」確か稲垣くんは豊川出身と聞いたなあ変なご縁だと私。「至急に考えますので、いつまでご返事をすればいいですか」「できるだけ早い方が。決まってしまうからでは遅いので」「わかりました。2,3日中にはご返事をします」

その頃の私は資金が底をついていました。今の会社に全財産を注ぎ込んでいましたので、余裕がありませんでした。愛知県に行くにもお金がかかりました。引越代だけでもなんとかしなくてはなりません。向こうでアパートを借りるにもお金がかかります。まして知らない土地愛知県は初めての土地です。不安いっぱいですが、一度稲垣くんに聞いてみよう

と思いました。さて、籠谷弘全く知らない土地の愛知県に行くのか、行ったところどうなるのかこの続きは次回で……

籠谷 弘



歌声喫茶 5月・6月の予定
「西院」(第2、4木曜日)
5月 9日、23日
6月 13日、27日
楽々亭第42回 5月の予定
5月25日(土)
西京区役所洛西支所第三会議室
午後1時30分～3時30分

ともしび通信

発行元：NPO 法人没イチの会・京都
住所：京都市西京区大枝北沓掛町一丁目5番地2-406
TEL：075-874-5320 FAX：075-874-5328
MAIL：kago@botuichi.com

●ともしび通信では、皆様の投稿を募集しております。身の回りの出来事や体験談など、何でも結構です。楽しかったこと、つらい想いをしたことなど、様々な胸の内を皆様と共有して行きたいと考えております。